

# シンポジウム

大阪市立大学大学院創造都市研究科  
都市共生社会研究分野  
Presents

## 地活協と地域公共人材 大阪の地域運営の新たな仕組みの可能性

少子高齢化と人口減少、地域のつながりの希薄化などに伴い、地域社会における課題も複雑・多様化する中で、これまでのような全市一律の取組みでは地域ごとの状況に応じた解決は困難という認識に立ち、大阪市は、おおむね小学校校区等地域を基本単位に、各種地域団体やNPO、企業などが、さまざまな地域課題に取り組む地域運営の仕組みとして、地域活動協議会（地活協）を提唱、今年3月までに324が設立されました。一方、地活協とも関連して、地域の課題解決を支援する人的資源として、地域公共人材の育成が行われています。大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野では、これらの事業を担われた方々にお越しいただき、大阪における地域運営の新たな仕組みの可能性について考えるシンポジウムを開催することにしました。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。なお、このシンポジウムは、当分野の入試広報の一環として実施するため、修了後、簡単な入試説明会を行います。

- ★日時 2014年7月9日(水)  
午後6時30分から9時
- ★場所 大阪市立大学大学院  
文化交流センターホール  
大阪駅前第2ビル6階 JR北新地駅真上(右地図)
- ★講師 大阪市コミュニティ協会 金井文宏氏  
大阪NPOセンター 山田裕子氏
- ★司会 大阪市立大学大学院 柏木宏
- ★参加 無料 ★予約 不要

地活協と地域公共人材とは？

大阪市は、2012年7月に「市政改革プラン」を策定。「ニア・イズ・ベター」のスローガンの下、地域の多様な意見を的確に反映し、活動内容の透明性を確保しつつ、各主体がその特性を發揮、さまざまな地域課題に取り組む自律的な地域運営の仕組みを導入すると提起。このための組織として、市内で324の地域活動協議会（地活協）が設立された。また、地活協の設立と並行して、多様な主体が参画する地域のまちづくりに関する取組みについて、各主体間の合意形成、それぞれの主体が持つヒト、モノ、カネ、情報など地域における様々な資源をコーディネートすることなどにより、活動を創出し活性化させ、最適化を図り、持続可能なものとしていくマネジメント能力を持った人材、地域公共人材の育成が進められている。

都市共生社会研究分野とは？

2003年4月に開設された社会人向け大学院、大阪市立大学大学院創造都市研究科の分野のひとつ。NPOをツールに共生社会の形成を目指す人材を育成することをミッションに掲げて、共生社会に関する様々な課題と、それらに解決に向けNPOのマネジメント含め、実践的な教育研究活動を展開している。



お問い合わせ

大阪市立大学大学院創造都市研究科  
URL: <http://www.gscc.osaka-cu.ac.jp/>  
E-mail: [Info@co-existing.com](mailto:Info@co-existing.com)